

ポートフォリオにおけるイラストの提示方法による成長度評価の変化

学生番号：2132045 氏名：木内日奈子

指導教員：山崎治 准教授

1. はじめに

創作物の視聴、購入などのサービスを中心とした経済圏であるクリエイターエコノミー市場は成長を続けている。なかでもイラスト制作は市場全体の七割を占める「モノ分野」「コンテンツ分野」「スキル分野」それぞれに関与している肝要な技術である[三菱UFJリサーチ&コンサルティング, 2023]。イラストレーターの就職活動において、ポートフォリオと呼ばれる作品集が参考にされる。採用側は作家の作風や技術、人となりの他、成長度による将来性も評価している。しかし、単に作品の巧拙のみで将来性や成長度が測られているわけではなく、作品の見せ方、まとめ方によって評価が変化することが示唆されている[【イラストレーター必見!】仕事に使えるポートフォリオの作り方, 2014]。

2. 目的

本研究では、イラストの提示方法が成長度評価に影響を与えるのか、その関係をアンケートによって明らかにする。加えて、抽出した4つの提示の工夫のなかで、どの工夫が成長をアピールするのに効果的かを分析する。

3. 本実験 提示方法ごとの成長度評価の調査

実際のポートフォリオから①クローズアップ(CU)、②新作を大きく/旧作を小さく(大小)、③新作を先に提示/旧作を後に提示(順序)、④隣接、以上4つの提示の工夫を抽出し、アンケートを作成した。

3.1 方法

実験参加者:クラウドワークス上に登録している201名(男性100名/女性99名/回答なし2名)

計4グループとして実験を実施した。

実験計画:参加者に対してイラストの提示方法4条件を設け、1要因4水準参加者間計画で実験を実施した。

材料:イラスト5種(新作/旧作)計10枚を用意し、うち4種に対して提示の工夫を施した。残り1種は提示の工夫を施さず、各グループ間の条件統制として質問の最初に配置した。図1に成長度をアピールする工夫として「CU」のイラストを示す。

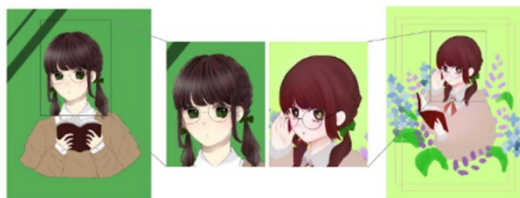


図1 「CU」(クローズアップ)による提示の工夫

手続き: 実験参加者は、留意事項を読んだ後、イラストの成長度を評価する質問に移る。成長度は色彩、陰影、質感、構図、形どり、アイデアの6項目

を、「全く成長していない」「あまり成長していない」「まあ成長している」「大きく成長している」の4段階で評価する。各項目に対しては質問文内に簡単な説明が記載されている。

3.2 結果

評価は、「全く成長していない」を1点、「あまり成長していない」を2点、「まあ成長している」を3点「大きく成長している」を4点として集計を行った。

成長度評価の平均点の差を一要因分散分析により検定した。分散の等質性が成り立たない可能性を考慮して、Brown-Forsythe 検定と、Welch 検定を実施した。検定の結果、提示の工夫間に5%水準で有意な差が見られた。表1に各条件において有意差の認められたグループを示す。

表1 イラスト/評価項目における提示の工夫の差

	色彩	陰影	質感	構図	形どり
イラスト1					
イラスト2	大小>隣接			大小>隣接	
イラスト3	CU>大小				
イラスト4			大小>CU	大小>隣接	
イラスト5	大小>CU >隣接	大小>隣接 >CU	大小>CU= 隣接	大小>隣接 >CU	大小>順序 >隣接>CU

アイデアの項目に関して有意差は認められなかった。また、有意差が確認されたグループ間で事後検定を行ったところ、すべて中程度の効果量であることがわかった。

4. まとめ

本研究では、提示の工夫が成長度評価に有意な差を与えることがわかった。特に、②新作を大きく/旧作を小さくにおいて、成長度評価の平均値が高くなる傾向がある。

以上の結果から、新作を大きく、旧作を小さく提示することで新作/旧作間の相対的な成長度評価を高めることができる効果が見込まれる。

参考文献

【イラストレーター必見!】仕事に使えるポートフォリオの作り方. (2014年6月10日). 参照先:

GIKUTASMagazine:

<https://gikutas.jp/magazine/illustration/44>

三菱UFJリサーチ&コンサルティング. (2023). 国内クリエイターエコノミーに関する調査結果. 参照日: 2024年10月22日, 参照先: chrome-

extension://efaidnbmninnibpcapjpcgclclefindmkaj/https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2023/10/cr_231031_01.pdf